

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	20280
事業名	意思疎通支援費					
評価担当課	所 属	保)障がい保健 障がい福祉課			電話番号	011-211-2936
施策名	年齢・性別・障がいの有無・国籍・民族・宗教・文化などの違いを					
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	○ 直営	○ 一部委託	● 全部委託	○ 補助・助成	○ その他	

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	【背景】障害者自立支援法の地域生活支援事業の必須事業である。また総合支援法の改正に伴い、専門性の高い意思疎通支援事業を行う者の養成派遣事業については、中核市・政令市も行うこととなった。 【課題】ろうあ者や中途失聴者、盲ろう者、失語症者等の障がい特性に応じたコミュニケーション手段を利用しやすい環境を整備することが必要である。
	事業内容(何を実施し)	【目的】ろうあ者や中途失聴者、盲ろう者、失語症者等の意思疎通等を支援し、福祉の増進を図る。 【内容】 ①手話通訳者等養成派遣事業:手話通訳者等の派遣及び養成 ②要約筆記者等養成派遣事業:中途失聴者・難聴者のための要約筆記者の派遣及び養成 ③盲ろう者通訳・介助員養成派遣:重度の盲ろう者の外出時の付き添い、通訳及び代読等を行う通訳・介助員の派遣及び養成 ④失語症者向け意思疎通支援者及び指導者養成:失語症者向け意思疎通支援者及び指導者の養成
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	ろうあ者や中途失聴者、盲ろう者、失語症者等の意思疎通等を支援し、福祉の増進を図る。
	他都市の状況	地域生活支援事業の必須事業のため、他都市においても同様の事業を実施している。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☐ 対象外

令和4年度決算額	91,791 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.3 人工
令和5年度予算額	94,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0 人工
令和5年度決算額	95,432 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0 人工
令和6年度予算額	91,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0 人工

指標	アウトプット活動指標1	年間派遣件数【手話】				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		4664	4,397	4496	4,390		
	↓						
	アウトカム成果指標1	年間派遣件数【盲ろう】				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		874	2500	721	810		
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方						
	アウトプット活動指標2	年間派遣数【要約筆記】				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		658	918	758	769		
	↓						
	アウトカム成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し内容	なし
来年度以降の方向性	障がい者等がより使いやすい制度に改善することにより、障がい者福祉の向上を進めていく。